



安全で住みよい都市・市民 特色あふれる文化と平和

「墓地整備基本計画」策定のため、市全域の墓地実態調査を行います。

(みどりと水辺の公園の整備)ラムサール条約に登録された漫湖や、市内にわずかに残された末吉の森などの、自然環境の保全に努めるとともに、自然観察指導員やボランティアを養成し、エコツーリズムの推進、市民への啓発を行います。

潤いと安らぎのあるまちづくりのため、「チヨウの舞う街づくり推進事業」を実施いたします。

「全国ハープサミット」を開催し、暮らしの中へのハーブの定着と、観光資源としての活用を図ってまいります。

緑化に関する、普及啓発活動を進めるための交流拠点として、新都心地区に「緑化センター」を整備します。

次に、「学び創造する文化都市について」申し上げます。

(生涯学習の総合的推進)子育て支援施設として、未吉公園内に建設した「森の家みんみん」を活用し、幼児・児童などを対象に自然体験、社会体験ができる場を提供します。

余裕教室を地域交流施設に改造し、たくましい児童を育成し、将来の那覇市を担う子どもたちが健全に育つよう、学校施設の開放を促進します。また、復帰30周年を記念して、「ウィーン少年合唱団」の天使の歌声を、多くの市民に堪能していただく機会を提供するとともに、市内小中学生とのジョイントコンサートを行い、交流を図ります。



安全で楽しく利用しやすい公園で、元気いっぱい遊ぶ子供たち。

(幼稚園教育・学校教育の充実)幼稚園の教育環境の格差を是正するため、適規模および適正配置について、検討いたします。

学校や地域の特性を活かし、教育内容を充実し、教育活動を主体的に推進するため、「特色ある学校づくり」に取り組んでいきます。

幼児教育の充実を図るため、市立の3幼稚園において2年保育のモデル園を導入し、子育てを支援します。

現在、10名の外国人英語指導員を17名に増員し、全17中学校へ1名ずつ配置することにより、英語教育を充実させます。

小学校に配置している教育相談支援員を、週2日体制から週3日体制に強化し、不登校児童や保護者への支援の充実を図ります。

新都心地区の、小学校および幼稚園の建設に向け、基本設計、造成工事などを実施いたします。

徒の心身の健全育成を図るとともに、家庭・地域・学校の連携交流を目的に開催される「小学校陸上競技大会」を支援いたします。

完全学校週5日制への対応と、地域力アップのため、「三世代グランド・ゴルフ大会」を開催いたします。

新都心地区の新庁舎候補地を、野球やサッカーなどができる多目的広場として、市民に開放します。

(伝統文化の保存と継承)尚家の文化遺産を、広く県内外に公開するため、「尚家継承文化遺産展」を開催いたします。

本市に寄託された、人間国宝・金城次郎氏の作品を中心とする、特別展示会を開催し、広く市民・県民、観光客に公開します。

世界遺産に登録された、首里城を中心とする文化財を活用し、観光の振興を図るとともに、伝統文化の保存と継承を図るため、「世界遺産周辺整備事業」を実施します。

また、市民が文化と接する機会を増やすため、市立病院などでも「お役所ライブ」を実施するとともに、「那覇市文化協会創立10周年記念事業」をはじめ、市民の文化活動を支援いたします。

次に、「アジア・太平洋の自由貿易都市」について、申し上げます。

(商工業の振興)企業誘致を促進するため、「那覇市企業立地促進奨励助成金交付制度」を引き続き実施いたします。

新規事業として、IT関連産業の集積と新規企業の創出を支援するため、新都心地区に、「IT共同利用型インキュベーター施設」を建設します。

また、新たに制定される「沖縄振興特別措置法」における「産業高度化地域」の指定に向け、取り組んでまいります。

中心市街地の活性化や雇用の創出、人材育成を図るため引き続き「NANAぶんかテンプス事業」を実施いたします。

また、市民が文化と接する機会を増やすため、市立病院などでも「お役所ライブ」を実施するとともに、「那覇市文化協会創立10周年記念事業」をはじめ、市民の文化活動を支援いたします。

次に、「アジア・太平洋の自由貿易都市」について、申し上げます。

(雇用・勤労者対策の充実)雇用対策については、危機感をもって「緊急雇用対策事業」に取り組むとともに、本市独自の取り組みとして、専門学校などに進学することが経済的に困難な市内高校生に対し、奨学金を支援する制度を創設します。

また、市役所内でのワークシェアリングの一環として「総合案内所」へ臨時職員を配置するなど、雇用の拡大を図ってまいります。

地域の場を確保するため、地域経済の牽引力となるような企業の誘致と、既存企業の事業拡大に対する支援を行います。

(港湾・空港の整備)那覇港については、これまで本市が港湾管理者となつて整備を行い、沖縄県全体の経済・物流拠点として、大きな役割を果たしてきました。

那覇港は、今後も21世紀の沖縄県発展に重要な役割を果たす、「ハブ機能を有する国際流通港湾」として整備することが求められています。

平成14年度からは、沖縄県、那覇市および浦添市の三者が一体となつて、那覇港を開発整備し、財政基盤の安定を図るため、「那覇港管理組合」が設立されます。

那覇軍港移設に伴う、「県都那覇市の振興に関する協議会」への取り組みについては、軍港を含め、市全体の活性化につながる振興策について、県と連携して、国の支援を求めてまいります。

那覇空港の拡張につきましては、平成15年度に決定される、「第8次空港整備5箇年計画」に新滑走路建設が盛り込まれるよう、強く国に働きかけてまいります。

米国同時多発テロの影響による、観光客の落ち込みを回復するため、県や観光コンベンションビューローをはじめ、関係団体と協力し、各種イベント・誘客活動を実施いたします。

従来は、復帰30周年を記念し、「ビーチオリピック(仮称)」を開催いたします。また、日本・韓国共催で開催されるサッカーワールドカップのプレイベント「SAIL KOREA 2002世界帆船フェスティバルin沖縄」に参加する乗組員を歓迎し、交流イベントを実施いたします。

全国市長会の「港湾都市協議会総会」や、全国知事会に開連して開催される「沖縄全島ふるさと大会」などの、各種会議・コンベンションを積極的に誘致し、支援してまいります。

沖縄のうた、踊りを中心とした伝統文化を映像デジタル化し、観光および教育の拠点で活用します。

電子市役所を構築し、行政サービスの向上をめざす観点から、市民サービスの向上につとめます。

以上、平成14年度2002年度の市政運営にあたり、私の所信や予算案などについて述べてまいります。市民の皆様ならびに議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成14年2月22日
那覇市長 翁長雄志



生涯学習フェスティバルで実験を楽しむ子供たち